

## 令和3年度入学者選抜（令和2年度実施）の基本方針等について【予告】（第5報）

令和2年3月31日



令和元年10月18日に公表しておりました令和3年度入学者選抜の基本方針の第4報以降、文部科学省より発表となりました大学入学者選抜方針の変更を受けて随時公表した内容及び新たに決定した項目を合わせて、第5報としてお知らせいたします。

なお、本報以降に確定する事項等につきましては、令和2年6月公表予定の令和3年度入学者選抜要項に掲載する予定です。

### 1. 選抜区分の追加

令和3年度入学者選抜（令和2年度実施）より、大学入学共通テストを利用しない総合型選抜（総合型選抜Ⅰ）を新たに実施します。

総合型選抜Ⅰの詳細については、[別紙1](#)をご参照ください。

### 2. 募集人員の見直し

上記の総合型選抜Ⅰ実施に伴い、一般選抜（前期日程、後期日程）及び特別選抜（総合型選抜、学校推薦型選抜）の募集人員を見直し、特別選抜（総合型選抜、学校推薦型選抜）による募集人員を全学部入学定員の30%程度とします。詳細については、[別紙2](#)をご参照ください。

### 3. 英語能力の評価及び英語資格・検定試験の活用方法について

本学では、令和3年度入学者選抜（令和2年度実施）以降も英語資格・検定試験を利活用する方針を継続します。利用対象となる選抜区分は、国際バカロレア選抜を除く全選抜区分です。具体的な活用方法については[別紙3](#)をご参照ください。

また、令和3年度入学者選抜では、国際バカロレア選抜および工学部 帰国子女選抜を除く全ての選抜において英語能力の評価を行うこととし、工学部 帰国子女選抜では令和4年度入学者選抜（令和3年度実施）より英語能力の評価を行う予定です。選抜区分別の評価方式等の詳細については、[別紙3](#)をご参照ください。

### 4. 大学入学共通テスト実施における各教科・科目に関連する項目

#### （1）大学入学共通テストの利用について

大学入学共通テストを課す一般選抜（前期日程、後期日程）及び特別選抜（学校推薦型選抜Ⅱ、総合型選抜Ⅱ）では、大学入試センター試験と同様に5教科7科目を対象とします。

(2) 「国語」における大問別得点の取り扱い

本学は高度な理工系技術者・研究者の育成を目指しており、入学者には一定程度の国語力、特に現代文の読み書きに関する基礎的な力を求めます。そこで、大学入学共通テストの「国語」では表1のように「近代以降の文章」に重みづけする調整を行い、これを素点として選抜区分に応じた傾斜配点を行います。

表1 国語の大問別得点の調整内容

国語の合計点（素点）		200 点満点	
大問別得点	近代以降の文章	100 点満点	→ 140 点満点として換算
	古文	50 点満点	→ 30 点満点として換算
	漢文	50 点満点	→ 30 点満点として換算

(3) 外国語「英語」におけるリーディングとリスニングの配点比率

大学入学共通テストの外国語において「英語」を選択した場合、配点比率はリーディング 100 点、リスニング 100 点とし、この合計点を「外国語」の素点とします。

また、大学入試センターにより受験上の配慮としてリスニングを免除された者については、リーディングの得点を 200 点満点として換算し「外国語」の素点とします。

## 5. 選抜区分別の基本方針

### 5-1 一般選抜（一般入試）

(1) 個別学力検査

- ① 数学・理科の各教科・科目において、問題解決につながる記述内容を評価すること等を通して、これまで以上に論理的思考力・判断力・表現力等を評価する作問に努めます。
- ② 多面的・総合的評価を実施するため、高校等での教育活動を通して身に付けた主体的で協働的な学びを評価できるものとして、調査書を参考利用します。なお、調査書の記載内容について本学から特別に追加を指定する項目はありません。

令和4年度入学者選抜（令和3年度実施）以降は、調査書に加えて志願者本人が記載したものをを用いて主体性等評価を行う予定です。詳細は決まり次第、本学ホームページ等でお知らせします。

(2) 分離分割方式

分離分割方式に従って、前期日程、後期日程の2期の選抜を継続します。

### 5-2 学校推薦型選抜（推薦入試）

(1) 学校推薦型選抜 I（大学入学共通テストを課さない）

- ① 選考方法に、主体性等評価を追加します。
- ② 英語分野の適性検査\*として、Computer Based Test（以下、CBT とする）を追加します。

情報工学部では、数学・理科分野の適性検査\*においても CBT を利用します。

\*本学で学ぶために必要となる基礎的学力等を検査するもの

(2) 学校推薦型選抜Ⅱ（大学入学共通テストを課す）〔工学部のみ実施〕

従来の評価内容に、出願時の提出書類に志願者自身が記入する主体性等に関する申告書を追加し、それらを用いて総合的に評価します。

学校推薦型選抜の詳細については別紙4をご参照ください。

### 5-3 総合型選抜（AO入試）

(1) 総合型選抜Ⅰ（大学入学共通テストを課さない）

令和3年度入学者選抜（令和2年度実施）より新たに追加する選抜区分です。基礎的な知識・技能を含め、学力の3要素を多面的・総合的に評価します。総合型選抜Ⅰの詳細については、別紙1をご参照ください。

(2) 総合型選抜Ⅱ（大学入学共通テストを課す）

現行のAO入試の内容を継承し、大学入学共通テストを通して大学で学ぶ基礎的な学力について評価するとともに、学力の3要素を多面的・総合的に評価します。

### 5-4 国際バカロレア選抜（国際バカロレア入試）

「学力検査」を廃止し、その他の評価項目により本学で学ぶための学力の3要素を多面的・総合的に評価します。

### 5-5 私費外国人留学生選抜（私費外国人留学生入試）

出願資格としている英語資格・検定試験の種類を変更します。対象となる英語資格・検定試験及び換算点については、別紙3をご参照ください。

### 5-6 帰国子女選抜（帰国子女入試）

(1) 工学部

- ① 選考方法に、主体性等評価を追加します。
- ② 令和3年度入学者選抜（令和2年度実施）からは英語資格・検定試験のスコアを利用できるようにします。また、令和4年度入学者選抜（令和3年度実施）からは、CBTを利用した英語分野の適性検査（基礎的学力の検査）を追加します。

(2) 情報工学部

- ① 選考方法に、主体性等評価を追加します。
- ② 口頭試問を中心に行っていた適性検査（基礎的学力等の検査）にCBTを追加します。

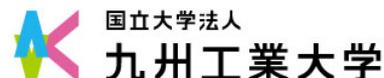
帰国子女選抜の詳細については、別紙3並びに別紙5をご参照ください。

【お問い合わせ先】

九州工業大学入試課 Tel : 093-884-3056

## 令和3年度入学者選抜（令和2年度実施）以降の総合型選抜 I について【予告】（第3報）

令和2年3月31日



令和2年度に実施する令和3年度入学者選抜から開始する総合型選抜（総合型選抜 I）に関して、第2報でお知らせしていた内容を一部変更しましたので、以下のようにお知らせします。

なお、その他の詳細については、令和2年6月頃に発行する入学者選抜要項及び本学ホームページ等にて公表します。

## 1. 選抜方法及び配点

2段階選抜での実施とします。

**第1段階選抜**【第1志望の学部を選択】

- 大学の講義内容等を受講後、レポートを作成
- 課題解決型記述問題

**第2段階選抜**【志望類を指定\*】

\* 第3志望まで指定できます。

第2, 第3志望類は、出願時に選択した学部とは異なる学部の類からも指定できます。

- 学びの計画書 作成
- 適性検査（Computer Based Test を用いた基礎的学力等の検査）

本学が定める英語資格・検定試験のスコア提出があった場合は、別紙3に示す換算表により換算した点数を適性検査（英語分野）に加点します。ただし、加点した得点が120点を超えた場合は、120点として扱います。

- グループワーク
- 個人面接

表1 総合型選抜 I の配点

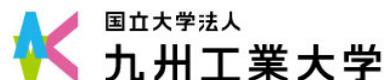
選抜	第1段階選抜		第2段階選抜				
	レポート	課題解決型 記述問題	学びの 計画書	適性検査 (数・理分野)	適性検査 (英語分野)	グループ ワーク	個人面接
配点	150	150	80	400	120	100	100
	300		800				

## 2. 選抜会場及び選抜日程

選抜	第1段階選抜	第2段階選抜
会場	東京会場：東京工業大学 田町キャンパス 大阪会場：大阪府立大学 I-site なんば 福岡会場：本学 戸畑キャンパス	福岡会場：本学 戸畑キャンパス
日程	令和2年9月19日（土） [1日]	令和2年10月17日（土）・18日（日） [いずれか1日]

## 令和3年度入学者選抜（令和2年度実施）以降の募集人員について【予告】（再掲）

令和元年7月3日



本学では、令和2年度に実施する令和3年度入学者選抜から、新たに総合型選抜Ⅰを実施するとともに、一般選抜（前期、後期）及び特別選抜（総合型選抜、学校推薦型選抜）の募集人員を以下のとおり変更します。

## &lt;令和2年度入学者選抜（令和元年度実施）&gt;

学部	類	募集人員	入試区分ごとの募集人員								
			一般入試		特別入試					その他	
			前期日程	後期日程	推薦入試Ⅰ (大学入試センター試験を課さない)	推薦入試Ⅱ (大学入試センター試験を課す)	—	A0入試 (大学入試センター試験を課す)	国際バカロリア入試		帰国子女入試
工学部	工学1類	80名	34名	30名	10名	3名	/	3名	若干名	若干名	若干名
	工学2類	165名	74名	58名	22名	3名		8名	若干名	若干名	若干名
	工学3類	144名	62名	44名	30名	4名		4名	若干名	若干名	若干名
	工学4類	74名	31名	22名	14名	3名		4名	若干名	若干名	若干名
	工学5類	68名	32名	20名	10名	3名		3名	若干名	若干名	若干名
	小計	531名	233名	174名	86名	16名		22名			
情報工学部	情工1類	177名	105名	28名	35名	/		9名	若干名	若干名	若干名
	情工2類	110名	60名	20名	24名			6名	若干名	若干名	若干名
	情工3類	123名	71名	20名	25名			7名	若干名	若干名	若干名
	小計	410名	236名	68名	84名			22名			
合計	941名	469名	242名	170名	16名			44名			

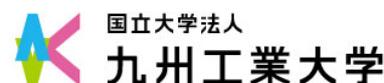
## &lt;令和3年度入学者選抜（令和2年度実施）&gt;

学部	類	募集人員	選抜区分ごとの募集人員								
			一般選抜		特別選抜					その他	
			前期日程	後期日程	学校推薦型選抜Ⅰ (大学入学共通テストを課さない)	学校推薦型選抜Ⅱ (大学入学共通テストを課す)	総合型選抜Ⅰ (大学入学共通テストを課さない)	総合型選抜Ⅱ (大学入学共通テストを課す)	国際バカロリア選抜		帰国子女選抜
工学部	工学1類	80名	<u>28</u> 名	<u>25</u> 名	<u>14</u> 名	3名	<u>5</u> 名	<u>5</u> 名	若干名	若干名	若干名
	工学2類	165名	<u>61</u> 名	<u>48</u> 名	<u>30</u> 名	<u>6</u> 名	<u>9</u> 名	<u>11</u> 名	若干名	若干名	若干名
	工学3類	144名	<u>57</u> 名	<u>40</u> 名	<u>32</u> 名	4名	<u>6</u> 名	<u>5</u> 名	若干名	若干名	若干名
	工学4類	74名	<u>29</u> 名	<u>20</u> 名	<u>15</u> 名	3名	<u>3</u> 名	4名	若干名	若干名	若干名
	工学5類	68名	32名	<u>13</u> 名	<u>13</u> 名	3名	<u>3</u> 名	<u>4</u> 名	若干名	若干名	若干名
	小計	531名	<u>207</u> 名	<u>146</u> 名	<u>104</u> 名	<u>19</u> 名	<u>26</u> 名	<u>29</u> 名			
情報工学部	情工1類	177名	<u>100</u> 名	<u>25</u> 名	35名	/	<u>8</u> 名	9名	若干名	若干名	若干名
	情工2類	110名	<u>62</u> 名	<u>15</u> 名	<u>23</u> 名		<u>4</u> 名	6名	若干名	若干名	若干名
	情工3類	123名	<u>68</u> 名	<u>17</u> 名	25名		<u>6</u> 名	7名	若干名	若干名	若干名
	小計	410名	<u>230</u> 名	<u>57</u> 名	<u>83</u> 名		<u>18</u> 名	22名			
合計	941名	<u>437</u> 名	<u>203</u> 名	<u>187</u> 名	<u>19</u> 名		<u>44</u> 名	<u>51</u> 名			

※下線を付した人数が変更となります。

## 令和3年度入学者選抜（令和2年度実施）における英語資格・検定試験の活用方法について 予告（第2報）

令和2年3月31日



令和元年11月1日に、文部科学省より令和2年度実施の大学入学者選抜における英語民間試験活用のための「大学入試英語成績提供システム」の導入を見送るとの決定が公表されました。九州工業大学では、この決定を受けて11月6日にお知らせしていましたが「大学入試英語成績提供システム」の運用を前提とした英語資格・検定試験の活用方法を見直し、令和3年度入学者選抜（令和2年度実施）の各選抜区分における英語資格・検定試験の活用方法を以下の通りとすることを決定しましたので、お知らせします。

本学は、グローバル社会の中で活躍できる技術者及び研究者の養成を目指しており、入学後の学びへの対応のためにも入学段階で一定程度の英語能力が欠かせません。そのため、令和3年度以降の入学者選抜より、一般選抜及び特別選抜において英語能力を評価対象とすること、並びに、その評価の中で英語資格・検定試験を利活用する方針を継続します。

### 1. 利用可能な英語資格・検定試験について

表1に定めるスコア換算表（以下、換算表という）に記載した、英語4技能の評価が行われる検定試験を利用対象とします。これらの検定試験は、コミュニケーションの基礎となる英語4技能に関する高校での学びを一定程度評価しうるものと考え、各選抜の配点に応じて換算表により換算した点数（以下、換算点という）を英語配点（大学入学共通テストを課す選抜においては「外国語」素点）の中で加点します。なお、この換算表は、グローバルエンジニアとして必要な英語によるコミュニケーション力の修得に向け、入学後の本学カリキュラムとの接続を考慮して作成したものです。

利用できる検定試験のスコアは、各選抜区分の出願期間初日から過去2年以内に受験（「英検」については2次試験）した公式（オフィシャル）スコアとします。

表1 英語資格・検定試験のスコア換算表（私費外国人留学生選抜を除く）

換算点の段階	TOEFL iBT 注1	GTEC	ケンブリッジ 英語検定	IELTS	TEAP	TEAP CBT	英検、英検CBT、英検2020 1day S-CBT, 英検2020 2 days S-Interview 注2		TOEIC (L&R)(S&W) 注3	
							英検CSEスコア	各級のCSEスコア判定対象範囲		
満点(英語配点の20%程度)	95	1350	180	7.0	375	800	2630	1級	1845	
↑ 各段階の換算点を決定します ↓	72	1190	160	5.5	309	600	2304	準1級	1560	
	58	1090	150	5.0	275	525	2150		2級	1380
	45	980	142	4.5	235	435	1980	1180		
	42	960	140	4.0	225	420	1950	1150		
			850	132		190	350	1850	準2級	915
			790	127		170	300	1790		835
			720	122		145	255	1728		755
			690	120		135	235	1700		625
			650	118				1670	3級	595
	0点		650未満	118未満				1670未満		595未満

注1：TOEFL iBTは、Test Date スコアのみを利用対象とする。（MyBest スコアは利用しない。）

注2：英検はCSEスコアにより加点判定を行うが、各受験級の試験内容で判定可能とされている範囲のスコアを対象とする。

注3：TOEIC (L&R) (S&W)は、TOEIC (S&W)のスコアを2.5倍にしてTOEIC (L&R)に合算したスコアで換算点を判定する。

## 2. 各選抜区分における利用方法

### (1) 一般選抜（前期日程・後期日程）、学校推薦型選抜Ⅱ、総合型選抜Ⅱ

出願時に英語資格・検定試験のスコア提出があった場合、表1を用いた換算点を大学入学共通テスト「外国語」の素点に加点します。ただし、加点後の素点合計が200点を超える場合は、200点として扱います。検定による加点分は最大で素点満点の20%程度とする予定です。

なお、「外国語」において英語以外の言語を選択した場合でも、出願時に英語資格・検定のスコア提出があった場合は外国語としての英語に関する能力の証明とみなし、英語を選択した場合と同様に素点に加点します。

### (2) 学校推薦型選抜Ⅰ、総合型選抜Ⅰ、帰国子女選抜（情報工学部）

各選抜の評価において、Computer Based Test（以下、CBTとする）を利用した英語分野の適性検査を行います。出願時に英語資格・検定試験のスコア提出があった場合、表1を用いた換算点を適性検査における英語分野の得点に加点します。ただし、加点により英語分野配点の満点を超える場合は、満点として扱います。適性検査における英語分野の配点は配点合計の15%程度とし、このうちの検定試験による加点分を最大で20%程度とする予定です。

なお、情報工学部の帰国子女選抜における英語能力の評価に関しては、令和元年6月26日に「認定試験の受験」（10月18日に対象となる検定を追加）を出願資格とすることを予告しておりましたが、今般の文部科学省発表とその理由に鑑みて、英語能力の評価を上記のようにすることとしました。

### (3) 帰国子女選抜（工学部）【令和元年11月28日公表済内容への追加決定分】

令和3年度入学者選抜（令和2年度実施）の工学部の帰国子女選抜では、出願時に換算表に定める英語資格・検定試験のスコア提出があった場合、表1を用いた換算点を面接試験における得点に加点します。ただし、加点後の面接試験の得点が150点を超える場合は、150点として扱います。検定による加点は、30点とします。

なお、令和4年度入学者選抜（令和3年度実施）からは、上記（2）で示した情報工学部の帰国子女選抜と同様に、CBTを利用した英語分野の適性検査を行うものとし、出願時に英語資格・検定試験のスコア提出があった場合、表1を用いた換算点を英語分野の適性検査の得点に加点します。ただし、加点後の得点が150点を超える場合は、150点として扱います。検定による加点は最大で30点とします。

### (4) 私費外国人留学生選抜

英語資格・検定試験のスコア提出を出願資格とし、出願時に提出されたスコアを、表2を用いて換算した換算点を英語の得点とします。

表2 私費外国人留学生選抜 スコア換算表

換算点	TOEFL iBT 注1	GTEC	ケンブリッジ 英語検定	IELTS	TEAP	TEAP CBT	英検, 英検CBT, 英検2020 1day S-CBT, 英検2020 2 days S-Interview 注2				TOEIC (L&R)(S&W) 注3	
							英検CSEスコア	各級のCSEスコア判定対象範囲				
250点	95	1350	180	7.0	375	800	2630	1級				1845
225点	72	1190	160	5.5	309	600	2304		準1級			1560
200点	58	1090	150	5.0	275	525	2150			2級		1380
175点	45	980	142	4.5	235	435	1980					1180
150点	42	960	140	4.0	225	420	1950					1150
125点	31	850	132	3.5	190	350	1850			準2級		915
100点	25	790	127	3.0	170	300	1790					835
75点	20	720	122	2.5	145	255	1728					755
50点	16	690	120	2.0	135	235	1700					625
25点	13	650	118	1.5	115	195	1670				3級	595
0点	13未満	650未満	118未満	1.5未満	115未満	195未満	1670未満					595未満

注1: TOEFL iBT は, Test Date スコアのみを利用対象とする。(MyBest スコアは利用しない。)

注2: 英検は CSE スコアにより加点判定を行うが, 各受験級の試験内容で判定可能とされている範囲のスコアを対象とする。

注3: TOEIC (L&R) (S&W) は, TOEIC (S&W) のスコアを 2.5 倍にして TOEIC (L&R) に合算したスコアで換算点を判定する。

(5) 国際バカロレア選抜

国際バカロレア選抜においては, 国際バカロレア教育のカリキュラム内容に鑑み, 本学における個別の英語能力評価並びに英語資格・検定試験の活用は行いません。

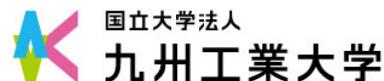
なお, 英語資格・検定試験の活用に関して今回確定していない内容につきましては, 令和2年6月に発行する令和3年度入学者選抜要項, 及び, 本学ホームページ等でお知らせします。

以上

【お問い合わせ先】  
九州工業大学入試課 Tel : 093-884-3056

**令和3年度入学者選抜（令和2年度実施）以降の学校推薦型選抜の変更について【予告】**

令和2年3月31日



国立大学法人

九州工業大学

本学では、令和2年度に実施する令和3年度入学者選抜以降の学校推薦型選抜について、次のとおり変更しますので、お知らせいたします。

**1. 学校推薦型選抜 I（大学入学共通テストを課さない）****（1）工学部における選考方法について****① 主体性等評価の追加**

出願時の提出書類に、高校入学後に取り組んだ主体性・多様性・協働性を持つ活動に関して志願者本人が記入する「主体性等申告書」を追加し、面接試験での主体性等評価における参考とします。

**② 英語分野の適性検査（基礎的学力の検査）の追加**

英語分野の適性検査として Computer Based Test（以下、CBT とする）を追加します。出願時に英語資格・検定試験のスコア提出があった場合は、別紙3の表1による換算点を適性検査の得点に加点します。ただし、加点後の得点が150点を超える場合は、150点として扱います。検定による加点は、最大で30点とします。

**（2）情報工学部における選考方法について****① 主体性等評価の追加**

Web 出願時に、高校入学後に取り組んだ主体性・多様性・協働性を持つ活動に関する記述を、「主体性等申告」として入力してもらいます。申告内容は、主体性等評価として評価します。

**② 適性検査（基礎的学力等の検査）への CBT の追加**

口頭試問を中心に行っていた、適性検査に CBT を追加します。  
英語の適性検査は CBT のみで行うこととし、出願時に英語資格・検定試験のスコア提出があった場合は、別紙3の表1による換算点を英語分野の適性検査の得点に加点します。ただし、加点後の得点が150点を超える場合は、150点として扱います。検定による加点は、最大で30点とします。

両学部の学校推薦型選抜 I における評価項目及び配点は表1のとおりです。

表1 学校推薦型選抜Ⅰの評価項目及び配点

学部	類	適性検査※			主体性等 評価***	調査書
		英語分野	数学分野	理科分野		
工学部	工学1類	150	300	300	150	100
	工学2類					
	工学3類					
	工学4類		250	350		
	工学5類		300	300		
情報工学部	情工1類		330	270		
	情工2類		300	300		
	情工3類		270	330		

※数学・理科分野の適性検査は、工学部では面接試験における口頭試問で実施し、情報工学部ではCBTも利用します。

\*\*\*主体性等評価は、申告された内容をもとに面接試験の中で実施します。

2. 学校推薦型選抜Ⅱ [工学部のみ] (大学入学共通テストを課す)

出願時の提出書類に、高校入学後に取り組んだ主体性・多様性・協働性を持つ活動について記入する「主体性等申告書」を追加し、多面的・総合的に評価します。

学校推薦型選抜Ⅱの評価項目及び配点は表2のとおりです。

表2 工学部 学校推薦型選抜Ⅱの評価項目及び配点

評価項目	大学入学共通テスト					主体性等 評価	調査書
	国語	地歴・公民	数学	理科	外国語		
配点	200	100	200	200	200	50	100

## 令和3年度入学者選抜（令和2年度実施）以降の帰国子女選抜について【予告】（第2報）

令和2年3月31日



本学では、令和2年度に実施する令和3年度入学者選抜以降の帰国子女選抜について、次のとおり変更しますので、お知らせいたします。

## 1. 工学部における選考方法について

## (1) 主体性等評価の追加

出願時の提出書類に、高校入学後に取り組んだ主体性・多様性・協働性を持つ活動に関して志願者本人が記入する「主体性等申告書」を追加し、面接試験における主体性等評価の参考とします。

## (2) 英語検定・資格試験のスコア利用を開始

本報別紙3のとおり、令和3年度入学者選抜（令和2年度実施）では、出願時に別紙3表1に定める英語資格・検定試験のスコア提出があった場合、同表による換算点を面接試験の得点に加点します。ただし、加点後の得点が150点を超える場合は150点として扱います。検定による加点は、最大で30点とします。

なお、英語資格・検定試験スコアによる加点対象を「面接試験」とするのは、令和3年度入学者選抜に限った扱いとし、令和4年度入学者選抜（令和3年度実施）以降は下記（3）に示すとおりとなります。

## (3) 英語分野の適性検査（基礎的学力検査）の追加（令和4年度入学者選抜より）

令和4年度入学者選抜（令和3年度実施）からは、Computer Based Test（以下、CBT）を利用した英語分野の適性検査（基礎的学力検査）を追加し、出願時に英語資格・検定試験のスコア提出があった場合は、別紙3表1による換算点を得点に加点します。ただし、加点後の得点が150点を超える場合は150点を得点として扱います。検定による加点は、最大で30点とします。

工学部 帰国子女選抜の評価項目及び配点は表1のとおりです。

表1 工学部 令和3年度以降の帰国子女選抜の評価項目及び配点

類	令和3年度入学者選抜			令和4年度入学者選抜			
	適性検査		主体性等 評価	適性検査			主体性等 評価
	数学分野	理科分野		英語分野	数学分野	理科分野	
工学1類	300	300	150*	150*	300	300	150
工学2類							
工学3類							
工学4類	250	350			250	350	
工学5類	300	300			300	300	

\*英語資格・検定試験スコアの換算点を加点する対象。

## 2. 情報工学部における選考について

### (1) 主体性等評価の追加

Web 出願時に、高校入学後に取り組んだ主体性・多様性・協働性を持つ活動に関する記述を、「主体性等申告」として入力してもらいます。申告内容は主体性等評価として評価します。

### (2) 適性検査（基礎的学力等の検査）への CBT の追加

口頭試問を中心に行っていた、適性検査に CBT を追加します。

英語の適性検査は CBT のみで行うこととし、出願時に英語資格・検定試験のスコア提出があった場合は、別紙 3 の表 1 による換算点を英語分野の適性検査の得点に加点します。ただし、加点後の得点が 150 点を超える場合は、150 点として扱います。検定による加点は、最大で 30 点とします。

情報工学部 帰国子女選抜の評価項目及び配点は表 2 のとおりです。

表 2 情報工学部 帰国子女選抜の評価項目及び配点

類	適性検査			主体性等 評価
	英語分野	数学分野	理科分野	
情工 1 類	150	330	270	150
情工 2 類		300	300	
情工 3 類		270	330	